

# 人材確保と生産性の向上

## 物流革新

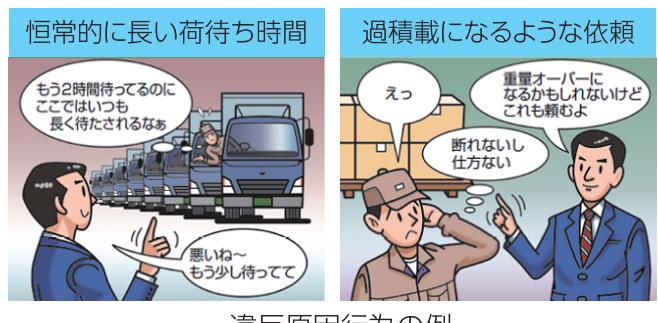
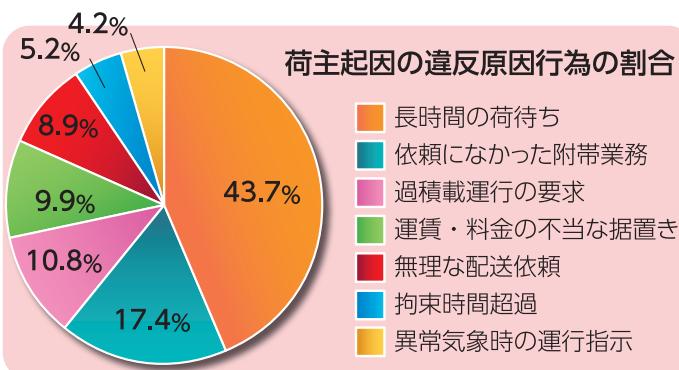
物流は私たちの生活や経済を支える重要な社会インフラですが、担い手不足など様々な課題を抱えています。トラックの輸送力不足からその停滞が懸念される「2024年問題」に直面しています。

政府は令和5年6月に「物流革新に向けた政策パッケージ」を策定し、荷主企業、物流事業者、一般消費者が協力して物流を支える環境整備に向けて、各種施策に取り組んでいます。

### 1 商慣行の見直し

#### トラックGメンによる荷主・元請事業者の監視体制の強化

国土交通省では、令和5年7月に全国にトラックGメンを設置し、悪質な荷主・元請事業者に対する監視体制を強化しています。これにより、トラックドライバーの労働条件の改善や取引適正化による物流の適正化・効率化に向けた取組の加速化を図っています。



違反原因行為の例



トラックドライバーから情報収集  
(基山パーキングエリア)



荷主・元請企業へのヒアリング

## 2 物流の効率化

### モーダルシフトの推進

トラックドライバーの担い手確保や脱炭素化のため、トラック長距離輸送から鉄道や船舶を利用した輸送への転換であるモーダルシフトの取組を支援しています。

#### 【2023年度事業例】自動車部品輸送の船舶モーダルシフト

##### 【事業内容】

トレーラーで輸送をしていた福岡～兵庫間の自動車部品を、船舶及びトレーラー輸送にモーダルシフトし、物流の効率化を図る



##### 【効果】

トラックドライバーの長時間労働の抑制に寄与している

運転時間省力化 3,080 時間  
(75.3% 削減)



## 3 荷主・消費者の行動変容

### 再配達率「半減」を含む再配達削減に向けた取組

物流負荷の軽減のために、宅配の再配達率の半減に向けて消費者に対してメディアや SNS による広報を行うなど意識改革・行動変容を促進する取組を行っています。



## 自動運転技術を活用した車両・船舶の導入支援

自動運転技術の実用化により、運送効率の向上、新たな交通サービスの創出が図られ、大幅な生産性向上に資する可能性が見込まれます。「自動運転（操縦）技術を活用した車両（船舶）」を導入する際の技術的指導や認定を行っています。



自動運転車両



日本財団の無人運航船プロジェクトによる  
実証運航船 (R4. 1)

# 人材確保と生産性の向上

## 地域を支える産業の担い手の確保・育成

交通の担い手である運転手や整備士、船員や造船等の技術者の高齢化や技能者不足の状況を踏まえ、運輸・観光に携わる人材の確保・育成に向けて、若年労働者や女性活躍に関する業界の取組を支援しています。

### 運輸・観光における女性の活躍促進

セミナーの開催やガイドライン策定など女性が働きやすい職場環境づくりの普及促進の取組を支援しています。



海事産業の現場で働く女性の紹介動画

女性のための宿泊業セミナー

### 自動車運転手・自動車整備士

高等学校等を訪問し、運転手・整備士の魅力についてPRしています。

イベントで運転手・整備士に興味を持つもらう取組を実施しています。



高等学校出前講座

「車座対話」(座談会)

### 海事産業の次世代人材育成

学生を対象に見学会やインターンシップを開催し、海事産業への就職を目指す人材の発掘を取り組んでいます。また、船員希望者と海運事業者のマッチングを図る船員就業フェアを開催しています。



海事産業見学会

船員就業フェア

### 運輸業界の担い手の確保

物流講座を開催するなど不足する運輸業界の人材確保に向けて、関係各所と連携した取組を行っています。



物流講座

バス・タクシー・トラック事業者と求職者のマッチング